

社説

会いの中で、少しでも相手の役
思いが強くなる。その時、野口
といふ言葉が胸に響くのだ。

1票の格差判決

「1票の格差」が最大2・06倍
だった昨年10月の衆院選を巡り、
最高裁は「合憲」と判断した。格
差是正を目指した国会の選挙制度
改革を「合理性がある」と評価し
たが、依然として格差2倍超の不
平等が残る。民意を政治的に確に
反映する選挙制度とは言えまい。

昨年の衆院選で小選挙区の議員
1人当たりの有権者数は、最少の
鳥取1区に比べて最多の北海道3
区は2・06倍だった。二つの弁護
士グループが「投票価値の平等を
求める憲法に違反する」として選
挙無効を求めて全国8高裁・6支
部に計16件の訴訟を起こした。
最高裁が合理性を認めた改革は
人口比を反映しやすい「アダムズ
方式」による議席配分、小選挙区
定数「10増10減」などを指す。5
年ごとの国勢調査に基づき議席配

分を見直す仕組みも整えられた。
しかし、2・06倍という格差は
鳥取1区の有権者が持つ1票に対
し、北海道3区の有権者は0・49
票しか持たない計算となる。

さらに、区割り改定を勧告する
国の審議会は、格差の基準を「2
倍未満」に置いており、現行制度
で2倍前後の格差が常態化する恐
れがある。昨年の衆院選の最大格
差は、区割り決定時点では1・99
倍にどどまつたが、その後の人口
移動に伴い、選挙時点では結局、
10選挙区で2倍を超えた。

衆院選の1票の格差は1975
年の約5倍から縮小が進んできた
が、小選挙区制が導入された96年
間も2倍前後で足踏みしている。
「2倍未満」という現行基準が
法の下の平等を掲げる憲法の精神

からいかにかけ離れているか、常
に問い合わせ続ける必要がある。
先進7カ国(G7)では米国や
英國、ドイツなどが日本よりもか
なり高水準で「1票の平等」を実
現している。米最高裁は64年に
「1人1票の原則」を打ち出し、
「市民の投票権がおとしめられ
ば、市民は市民でなくなる」と判
示した。

主権者である国民は投票を通じ
て政治に意思を反映するが、1票
の重みに違いが生じた選挙制度で
は、投票意思が正しく議席数に反
映されているとは言い難い。そう
した制度の欠陥を放置することは
国民を軽んじていては等しい。
投票価値の平等は民主主義の大
前提だ。司法がその実現を立法府
に求めることは、三権分立の原則
から当然の役割である。

「2倍」常態化させるな

◆発言(3
字程度)
リスト業
・職業
・(住
ファ
がし
電子
とが

甲第118号証

12

[トップ](#)
[愛知](#)
[岐阜](#)
[三重](#)
[特集・連載](#)
[紙面を見る](#)
[投稿](#)
[プレゼント](#)
[脳活](#)
[お出かけ](#)

香川 > オピニオン > 社説

「2倍」常態化させるな 1票の格差判決

2025年9月30日 05時05分 (9月30日 05時05分更新)



「1票の格差」が最大2・06倍だった昨年10月の衆院選を巡り、最高裁は「合憲」と判断した。格差を正を目指した国会の選挙制度改革を「合理性がある」と評価したが、依然として格差2倍超の不平等が残る。民意を政治的に確に反映する選挙制度とは言えまい。

昨年の衆院選で小選挙区の議員1人当たりの有権者数は、最少の鳥取1区に比べて最多の北海道3区は2・06倍だった。二つの弁護士グループが「投票価値の平等を求める憲法に違反する」として選挙無効を求めて全国8高裁・6支部に計16件の訴訟を起こした。

最高裁が合理性を認めた改革は人口比を反映しやすい「アダムズ方式」による議席配分、小選挙区定数「10増10減」などを指す。5年ごとの国勢調査に基づき議席配分を見直す仕組みも整えられた。

しかし、2・06倍という格差は鳥取1区の有権者が持つ1票に対し、北海道3区の有権者は0・49票しか持たない計算となる。

さらに、区割り改定を勧告する国の審議会は、格差の基準を「2倍未満」に置いており、現行制度で2倍前後の格差が常態化する恐れがある。昨年の衆院選の最大格差は、区割り決定時点では1・99倍にとどまったが、その後の人口移動に伴い、選挙時点では結局、10選挙区で2倍を超えた。

衆院選の1票の格差は1975年の約5倍から縮小が進んできたが、小選挙区制が導入された96年に2・32倍となって以降、約30年間も2倍前後で足踏みしている。

「2倍未満」という現行基準が法の下の平等を掲げる憲法の精神からいかにかけ離れているか、常に問い合わせ続ける必要がある。

先進7カ国（G7）では米国や英国、ドイツなどが日本よりもかなり高水準で「1票の平等」を実現している。米最高裁は64年に「1人1票の原則」を打ち出し、「市民の投票権がおとしめられれば、市民は市民でなくなる」と判示した。

主権者である国民は投票を通じて政治に意思を反映するが、1票の重みに違いが生じた選挙制度では、投票意思が正しく議席数に反映されているとは言い難い。そうした制度の欠陥

県境のぎふと

【PR】企画特集

トヨタ自動車 期間従業員 特別説明会
期間従業員としてトヨタで働きませんか？
10/13(月・祝)に名古屋で説明会開催

荒井商事 アライオーネクション
埋もれている資産に焦点を当て
“日本の価値を世界へ”

天気

地域設定

今日の天気 →

10月1日 11:00現在

名古屋 28/--	東京 22/--	大阪 29/--
--------------	-------------	-------------

会員設定メニュー

→会員情報の確認と変更 →パスワード変更

を放置することは国民を軽んじているに等しい。

投票価値の平等は民主主義の大前提だ。司法がその実現を立法府に求めるることは、三権分立の原則から当然の役割である。

→ 登録メールアドレス変 更 → メールサービス変更

★ アクセスランキング

もっと見る →

関連キーワード

社説



いま、あなたにオススメ



(PR)初回限定総額5,000円OFF。宅配弁当サービス「nosh」



熱狂支持のワケ 伊東市長、大義なき解散劇
(2025年09月22日)



「終活、私は終わってます」おひとりさまの保証人対策
(PR)一般社団法人 終活協議会



児童養護施設を出た若者たちの現実をご存じですか?社会で孤立しない…
(PR)かものはしプロジェクト



<ミカワSDGs>
(249) 医学の知見取り入れ弁当 レストラン…
(2025年10月01日)



トランプ氏暗殺未遂で有罪判決 ゴルフ場で待ち伏せ
(2025年09月24日)



「えっ!?こんなお値段で…」インプラント治療の資料請求はこちらか…
(PR)あんしんインプラント



すごい「住所等入力するだけでok」家の価値を調べられるサイト
(PR)イエウール



関西・九州の特産品と納税で!人気のちらからチェック
(PR)中日新聞メディアビュ



知ればもっと好き! 菓子イベントに34!ご招待!
(PR)中日新聞メディアビュ



『ローズ家～崖つ～』公開記念夫・妻募集!グッズ当たる!
(PR)BVコミュニケーション



血行から毎日を元々時間リカバリー

(PR)中日新聞メディアビュ

あわせて読みたい

昨年の衆院選、1票の格差は合意最高裁「新方式…倒産寸前だった学研のV字回復。19期減収の組織を…

「人が辞めない組織」に必要なたつた一つの条件。…

ケーブルも契約も不要—このワイヤレスインターネ…

中日スポーツ 東京中日スポーツ

中日新聞しづおか 北陸中日新聞 日刊県民福井

東京新聞

公式X →

公式YouTube →

中日新聞社
ソーシャルメディア アカウント X

関課題は続く

の最後の易体制全体を守る観点からのに對に首相が働きかけは乏しかった。首脳た。首脳は、「歴を侵略したロシアの責任をあいと語つ書の今の権実に引

利益にとどまらない、自由貿易体制全體を守る観点からのに對に首相が働きかけは乏しかった。トランプ政権はウクライナを攻撃するなど、法の支配を軽んじる行動を繰り返しているが、日本政府が表立つて疑惑を呈することにはなかった。

年10月、大國の「力による支配」を排し、普遍的な価値に基づく国際秩序を守らねばならない。欧洲諸国との連携を強化するなど、日本にはもっとできることがあるはずだ。厳しい安全保障環境に対しても、日米同盟の強化とともに、習近平国家主席との会談を実現するなど、中国との対話を一定の進展が見られた。業には積みに對して側近の側近の急がない。この国の平和と安泰で一定の定をじう守るか。重い課題が次の首相に引き継がれる。

朝日新聞 10面

2025.10.2

一票の不平等

是正の議論を緩めるな

住んでいる場所によって、安どされてきた2倍超の格差を軽視してはいないか。そもそも「2倍」でさえ平等の原則からほど遠いことを考えれば、疑問は極めて大きい。

最高裁は格差が2倍を超えた2009年、12年、14年選挙を「違憲状態」として、国会に強く格差の是正を迫つて、「合憲」と判断した。

最高裁は格差が2倍を超えた2009年、12年、14年選挙を「違憲状態」として、国会に強く格差の是正を迫つて、「合憲」と判断した。これを受け、人口比を選挙区の定数に反映しやすくされた。これは、日米同盟の強化とともに、習近平国家主席との会談が、人口減の影響から、10選挙区で格差が2倍を超えた。

最高裁判決は、憲法が求められる「投票価値の平等」は選挙制度を決める絶対の基準ではないとして国会の裁量を広く認め、現行の区割りを合理的と評価した。だが、一応の目

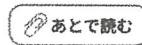
安どされてきた2倍超の格差を軽視してはいないか。そもそも「2倍」でさえ平等の原則からほど遠いことを考えれば、疑問は極めて大きい。民主政治の基礎となる投票権の裁判が小法廷で扱われたことも残念だ。21年選挙の大法廷判決がアダムズ方式の合理性を認め、昨年の選挙も16の高裁判決がいずれも「合憲」とした点を考慮したとみられるが、近年の同種訴訟は裁判官15人全員で重要な憲法判断を担う大法廷で審理されていた。今回、審理した4人の判事のうち弁護士出身の高須順一判事が「違憲状態」との意見をつけたが、さらなる多様な考え方や議論の息づかいを残せなかつた。

衆院の選挙制度を議論する与野党の協議会は1月にできましたが、具体的な進展はない。二大政党制をめざし小選挙区制度が導入されて30年。少数与党となつた自民党の総裁選では、候補者の一人から中選挙区制の再導入の声は挙がるが、論戦は起きていない。

「一人一票」をどう実現するか。衆院と参院の役割はどうあるべきか。民意を正当に反映し代表する選挙制度をいかに構想するかは、政治の根幹である以上を忘れないでもらいたい。

<社説>衆院1票の格差 民意反映へ抜本改革を

2025年10月3日 4:00

あとで読む
X
Facebook
Up
社説 フォロー

#社説 #オピニオン

最高裁は「1票の格差」が最大2.06倍だった昨年10月の衆院選について、合憲との判断を示した。新たに導入された人口比を反映しやすい議席配分「アダムズ方式」に基づく区割りには合理性があるとした。

だが格差は判断の目安として法が定めた2倍を超えており、原則はあくまで1人1票であり投票価値の平等は民主主義の大前提である。これをあいまいにしては選挙の信頼どころか正当性そのものが揺らいでしまう。

裁判官4人のうち1人は「違憲状態」とする個別意見を付けた。国会は判決により、お墨付きを得たと考えてはならない。

そもそも急激な人口減社会の中でただ定数是正を繰り返せば都市部の代表ばかりが増え、地方の声が届きにくくなってしまう。多様な民意を反映することが欠かせない。国会は制度の矛盾に目をつむることなく、抜本改革を急がねばならない。

近年の1票の格差訴訟は裁判官15人による大法廷に付すのが通例だが、今回は小法廷で審理した。全国の高裁・支部がいずれも合憲と判断したとはいえ異例である。これだけの重要な案件は大法廷で多くの裁判官の判断をあおぐのが筋だっただろう。

議員1人当たりの有権者数が最少の鳥取1区（鳥取市など）と比べ、最多の2.06倍となったのは北海道3区（札幌市の一部）だった。アダムズ方式を導入しても2倍を超えるのは選挙前から予想されていたはずだ。

衆院選を巡る最高裁の合憲判断はこれで3回連続となる。2倍前後であれば良しとする判断は不明瞭と言わざるを得ない。司法は事態をもっと深刻に受け止めるべきではないか。

度重なる定数是正や区割り変更は有権者を混乱させている。政党内の調整によって小選挙区から比例単独に回る候補が相次ぐなどいびつさも目立つ。弥縫（びほう）策は限界に近い。

現行の小選挙区比例代表並立制は導入から30年が過ぎた。当初想定した二大政党制は実現せず、多党制の時代に入りつつある。死票が多いなど課題も少なくなく、自民党総裁選でも制度の見直しを訴える候補が出た。

選挙制度の問題を司法の判断に委ねるのではなく、根本から議論し直すのは当事者である国会の責務だ。有識者の意見も聞きながら、さまざまな制度を幅広く検討する必要がある。

交流サイト（SNS）の普及などで選挙を巡る環境は大きく変化している。衆参両院の役割分担にも目配りしつつ、民意と丁寧に向き合うべき政治の姿を探り続けねばならない。

わたしのニュース

無料・有料会員に登録してログインすると
こちらに自分好みのニュースを表示でき

PR

“日本の価値を世界へ
”トラックから農機までを幅広く扱うアライ

仕入れ側・販売側の双方にメリット。ビジネ
フ・カーにて伸びた業

北海道から発信！韓國
♥LOVEのコミュニティ！「カジヤ」コロナ

子育て世帯のマイホームの夢を応援！全期間
固定金利の住宅ローン

アクセスランキング >

10月3日

1 白老に史上最大の雨、1時間123.5mm
北海道、82本運休 2日も特急など

2 フェザーホーム自己破産申請へ
2 12億円 ニセコなどリゾート地で
け住宅建築

3 住宅街でタクシー威嚇・うなり声、
頭… 札幌にヒグマ出没多発 南区
除

4 室蘭・日鋼病院、徳洲会グループ
「市立」との統合、一層不透明に

5 秋の高校野球 北海、初戦は札大名
大会組み合わせ決定